

○大学卒程度社会福祉専門試験問題例

(社会福祉学)

第1問 地域共生社会のビジョンと、その実現のための法改正や事業等の概要について述べなさい。

第2問 次の二つの用語について説明しなさい。

- (1) 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金の特例貸付
- (2) 生活保護における自立の助長

(社会学)

第1問 次のA～Dの社会学の概念の中から一つ選び、(1) 議論されてきた経緯や関連する研究にふれながら説明した上で、(2) その概念にかかわる現代の社会現象・社会問題を取り上げ、あなたの考えを論じなさい。解答用紙の冒頭にA～Dのうち選択した文字を記入すること。

- A. 準拠集団
- B. スティグマ
- C. 予言の自己成就
- D. 脱工業社会

第2問 表1は、47都道府県の交通事故件数と犯罪認知件数の関係をあらわした表である。交通事故件数と犯罪認知件数のそれぞれについて、多い都道府県と少ない都道府県の2つに分けてクロス集計表にしている。例えば表1をみると、交通事故件数が少なく犯罪認知件数も少ない都道府県は15都道府県であり、交通事故件数が少ない都道府県のうちの63%にあたることになる。

(1) 表1から、交通事故件数と犯罪認知件数の間にはどのような関連が見られるか述べなさい。

表1. 2019年度の交通事故件数と犯罪認知件数(都道府県)

		犯罪認知件数			
		少ない	多い	計	
交通事故件数	少ない	実数	15	9	24
		%	63	38	100
	多い	実数	8	15	23
		%	35	65	100
	計	実数	23	24	47
		%	49	51	100

小数点以下の誤差により、合計が100%を超えることがある。
 交通事故件数：2019年度、人口10万人当たりの交通事故発生件数
 犯罪認知件数：2019年度、人口1000人当たりの刑法犯罪認知件数
 出典：警察庁交通局交通企画課『道路の交通に関する統計』
 警察庁刑事局刑事企画課『犯罪統計』

(2) 表1をさらに可住地面積1k㎡当たりの人口密度の大小によって分割して表にしたものが、表2である。例えば、交通事故件数が多く人口密度が高い18都道府県のうち、犯罪認知件数が多い都道府県は14都道府県であり、比率は78%である。表2から、人口密度、交通事故件数、犯罪認知件数の間にはどのような関連があると考えられるか、述べなさい。

表 2. 2019 年度の交通事故件数、犯罪認知件数、人口密度(都道府県)

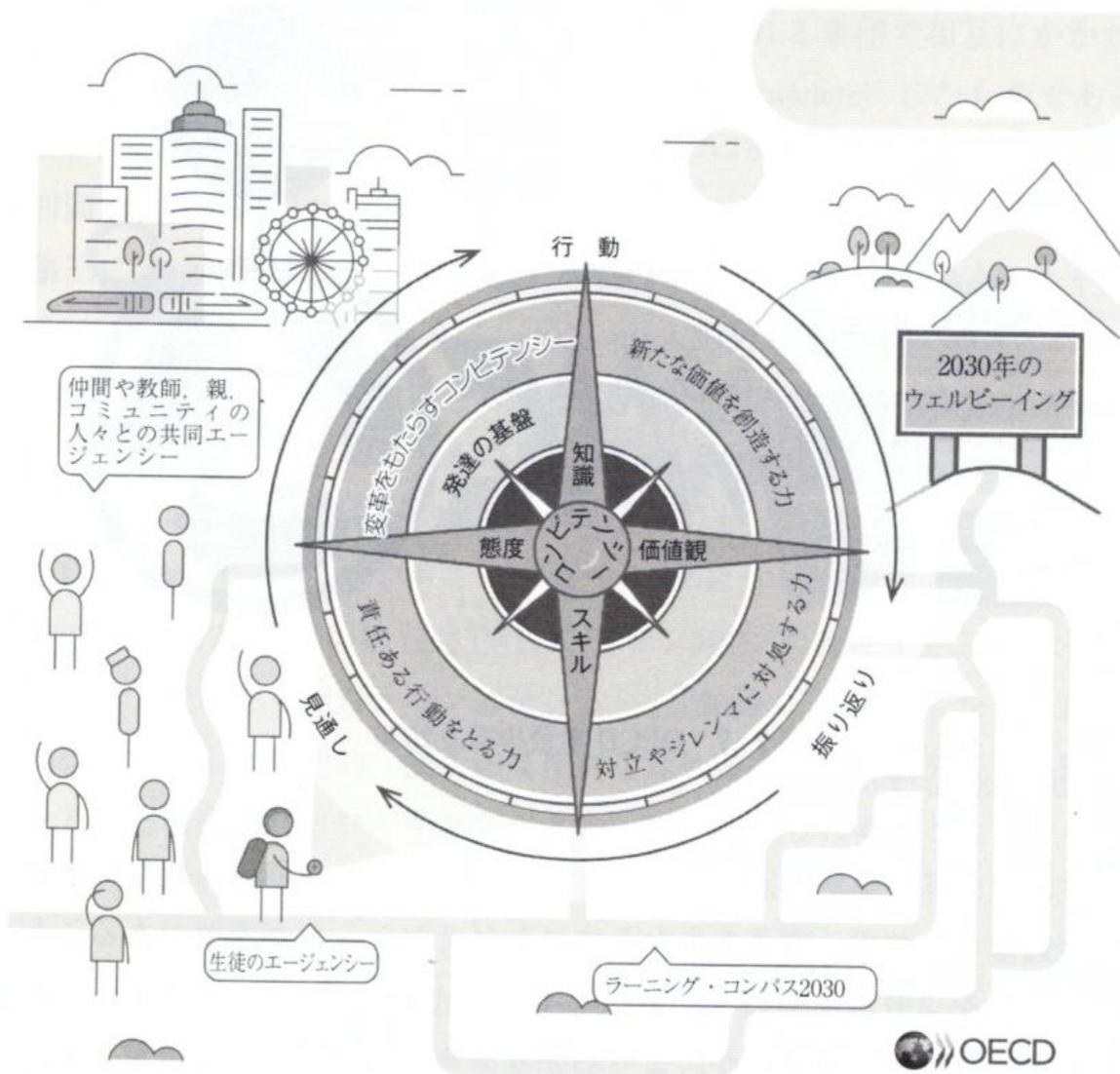
		人口密度					
		低い			高い		
交通事故	犯罪	少ない	多い	計	少ない	多い	計
		少ない	実数	13	6	18	2
	%	72	28	100	33	67	100
多い	実数	4	1	5	4	14	18
	%	74	26	100	22	78	100
計	実数	17	6	23	6	18	24
	%	74	26	100	25	75	100

人口密度：2019 年度、可住地面積 1 k m²当たりの人口密度
 出典：警察庁交通局交通企画課『道路の交通に関する統計』
 警察庁刑事局刑事企画課『犯罪統計』

第 3 問 近年、社会調査の回収率の低下が問題化している。例えば内閣府の「社会意識に関する世論調査」は 1969 年に 82.9%であったものが 2019 年には 53.9%へと約 30 ポイント低下している。社会調査の回収率が低下する要因とその改善策について考察しなさい。

(教育学)

第1問 OECDが2015年から進めてきた“OECD Future of Education and Skills 2030”プロジェクトでは、優れた教育を行っていくための重要な要素が、下図の「ラーニング・コンパス (学びの羅針盤)」という学習枠組みによって示されている。ではなぜ、ここで新たに提案された学習枠組みは「コンパス」で表現されているのか。この「ラーニング・コンパス」の持つ意味を、提案がなされた社会的な背景もふまえて説明しなさい。



第2問 近年の教育改革では、幼稚園教育要領および保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小・中学校学習指導要領が同時に改訂され、初めて15年間一貫の教育(学習指導)要領がつけられた。これらの教育(学習指導)要領の基本的な考え方は、子どもたちの学びが学校では完結しないことを前提に、卒業後も学び続ける力を養うということにある。特に小・中学校の段階では、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を実現することの重要性が提言されているが、これら三つの学びの視点は具体的にどのようなものであると思うか、それぞれ説明しなさい。

(心理学)

第1問 系列位置効果は二重貯蔵モデルによってどのように説明できるか。このことについて、二重貯蔵モデルとはどのようなモデルかを明らかにした上で知るところを述べなさい。

第2問 以下に挙げる(1)～(3)の事項すべてについて、説明しなさい。

- (1) ハイダー (Heider, F.) のバランス理論
- (2) 群化の法則
- (3) 学習性無力